

エコプラン平成25年度実績報告書

1. 平成25年度温室効果ガス排出量算定結果

(1) 温室効果ガスの排出削減目標

佐世保市では、市役所自らの事務事業によって排出される温室効果ガスを削減するため、「佐世保市役所エコプラン」（以下、エコプランという。）を策定し、地球温暖化防止に向けて取り組みを進めています。

エコプランでは、平成25年度から平成29年度までの5年間の計画期間とし、平成29年度における排出量を、平成22年度比で6%削減することを目標としています。温室効果ガス排出量が多い施設を有する事業ごとに部門別削減目標を設定し、エコプランの進捗管理は佐世保市環境マネジメントシステムで行っています。

エコプランの取組の基本的方針（「1 省エネ行動の実践」、「2 施設における省エネルギー化の推進」、「3 環境負荷の少ないエネルギーの利用推進」、「4 公用車における省エネルギー化の推進」、「5 ごみの減量化、資源化の促進」、「6 その他（事務用紙使用量の抑制や節水、グリーン調達の推進等）」）に基づく活動とあわせて、「環境法規制の順守」や「公共工事の環境配慮」を対象とし、PDCAサイクルを活用した取り組みを行い、継続的改善を図ることで、市役所全体の目標達成を目指しています。

(2) 平成25年度における温室効果ガス排出量

平成25年度における温室効果ガス排出量は、CO₂換算で73,649,440kg-CO₂でした。基準年度（平成22年度）における温室効果ガス排出量に比べ15.94%減少しました。

【部門別の排出量（平成25年度）】

部門	対象施設等		基準年排出量(kg-CO ₂) (H22年度)	H25年度排出量(kg-CO ₂)	増減率
事務	事業部門以外(交通を含む)		16,152,314	14,853,732	-8.04%
事業	ごみ処理	環境部 施設課、西部CC、西部CC浸出水、西部CC資源化、西部CC灰溶融、東部CC、宇久環境センター、宇久清掃センター、宇久一般廃棄物最終処分	53,784,099	41,223,400	-23.35%
	し尿処理	環境部 クリーンピュアとどろき 宇久衛生センター	2,889,134	2,851,927	-1.29%
	水道	水道局 水道事業(東部管理グループ含む)、北部管理事務所、宇久営業所、水道施設課、山の田浄水場、大野浄水場、柚木浄水場、広田浄水場	5,875,775	5,820,426	-0.94%
	下水道	水道局 下水道事業課、下水道施設課・水質管理センター、下水処理課(施設使用分)	4,204,170	4,186,182	-0.43%
	病院	総合病院 総務課、経営企画課、財務課、看護専門学校	4,714,071	4,713,773	-0.01%
合計			87,619,563	73,649,440	-15.94%

温室効果ガス種類別割合では二酸化炭素が96.35%と大半を占めており、排出原因では廃プラスチックの焼却によるものが43.04%、電気の使用によるものが38.61%を占めています。平成25年度排出量が減少した主な理由は、ごみ処理部門における廃プラスチックの焼却量の減少です。

【温室効果ガス別内訳（平成25年度）】

温室効果ガス名	排出量 (kg-CO ₂)	構成比 (%)
二酸化炭素	70,957,842	96.35
一酸化二窒素	2,306,090	3.13
メタン	379,008	0.51
ハイドロフルオロカーボン	6,500	0.01

【排出原因による内訳（平成25年度）】

排出原因	排出量 (kg-CO ₂)	構成比 (%)
廃プラスチックの焼却による	31,700,725	43.04
電気の使用	28,434,314	38.61
燃料の使用	10,822,803	14.70
その他	2,691,598	3.65

2. 平成25年度エネルギー使用量等実績

温室効果ガス排出量の削減目標を達成するため、エコプランの取組方針に基づき、各課かいにおいて、取組目標を設定し、環境活動を実施しました。全課かいで、エネルギー7項目（電気・ガソリン・軽油・A重油・灯油・都市ガス・LPG）の使用量、事務用紙使用量、水道使用量、可燃ごみ排出量の削減に取り組みました。

（1）目標値の設定について

エコプランにおいては、ガソリンを除く各エネルギー使用量の削減目標を部門毎（事務系、ごみ処理事業、し尿処理事業、水道事業、下水道事業、病院事業）に、ガソリン、事務用紙、水道、可燃ごみの削減目標を、共通で設定しています。

（2）結果

取り組み結果は以下のとおりとなっています。下記の10項目のうち5項目（電気使用量、ガソリン使用量、A重油使用量、都市ガス使用量、LPG使用量）において削減できています。使用量が増加した項目のうち、軽油使用量については、乗合バスの路線の延長が主な要因です。灯油使用量の増加は、灯油を燃料とする暖房設備への変更や、一部施設における暖房の使用頻度の増加、西部クリーンセンターにおける焼却炉の乾燥炊きへの使用の増加が主な要因です。事務用紙使用量については、制度改正や業務による印刷物、資料作成が主な要因で増加しました。水道使用量、可燃ごみ排出量の増加は、佐世保市学校給食センターの新設が主な要因です。

【総括 各エネルギー使用量等の削減割合（平成25年度）】

総括	基準年度使用量 (22年度)	25年度使用量	増減率
電気使用量(Kwh)	77,698,839	73,855,367	-4.95%
ガソリン使用量(L)	287,703	285,688	-0.70%
軽油使用量(L)	1,570,817	1,590,341	1.24%
A重油使用量(L)	578,824	477,000	-17.59%
灯油使用量(L)	782,433	797,072	1.87%
都市ガス使用量(m ³)	1,115,032	1,013,563	-9.10%
LPG使用量(m ³)	164,988	149,453	-9.42%
事務用紙使用量(枚)	27,367,137	29,570,641	8.05%
水道使用量(m ³)	316,684	332,644	5.04%
可燃ごみ排出量(kg)	63,297	116,786	84.51%

【部門毎の各エネルギー使用量等の削減割合（平成25年度）】

事務系	基準年度使用量 (22年度)	25年度使用量	目標年度(H29)	増減率
電気	22,162,894	19,735,098	-5.00%	-10.95%
ガソリン	287,703	285,688	-5.00%	-0.70%
軽油	1,553,627	1,573,935	-5.00%	1.31%
A重油	257,694	199,360	-5.00%	-22.64%
灯油	277,783	278,978	-5.00%	0.43%
都市ガス	436,533	344,532	-5.00%	-21.08%
LPG	158,367	144,920	-5.00%	-8.49%

ごみ処理事業	基準年度使用量 (22年度)	25年度使用量	目標年度(H29)	増減率
電気	17,861,844	16,610,928	-10.70%	-7.00%
軽油	17,120	15,468	-10.70%	-9.65%
A重油	164,400	119,200	-10.70%	-27.49%
灯油	502,257	516,748	-10.70%	2.89%
LPG	2,961	1,216	-10.70%	-58.93%

し尿処理事業	基準年度使用量 (22年度)	25年度使用量	目標年度(H29)	増減率
電気	7,137,732	7,054,386	-5.50%	-1.17%
灯油	1,000	560	-5.50%	-44.00%
LPG	642	262	-5.50%	-59.19%

水道事業	基準年度使用量 (22年度)	25年度使用量	目標年度(H29)	増減率
電気	15,249,260	15,108,528	-5.00%	-0.92%
軽油	0	743	-5.00%	22年度使用なし
灯油	1,000	200	-5.00%	-80.00%
都市ガス	354	117	-5.00%	-66.95%
LPG	502	320	-5.00%	-36.25%

下水道事業	基準年度使用量 (22年度)	25年度使用量	目標年度(H29)	増減率
電気	8,195,096	8,216,211	-7.00%	0.26%
軽油	70	155	-7.00%	121.43%
A重油	2,730	2,440	-7.00%	-10.62%
灯油	393	586	-7.00%	49.11%
LPG	325	310	-7.00%	-4.62%

病院事業	基準年度使用量 (22年度)	25年度使用量	目標年度(H29)	増減率
電気	7,092,013	7,130,216	-5.00%	0.54%
軽油	0	40	-5.00%	22年度使用なし
A重油	154,000	156,000	-5.00%	1.30%
都市ガス	678,145	668,914	-5.00%	-1.36%
LPG	2,191	2,425	-5.00%	10.68%

3. 環境活動の取組目標の達成状況

温室効果ガス排出量の削減目標を達成するため、エコプランの取組方針に基づき、各課かいにおいて、取組目標を設定し、環境活動を実施しました。平成25年度の取組目標における、部局内各課の達成状況の評価の詳細は、別紙のとおりとなります。

(1) 省エネ行動

「冷暖房機器・OA機器・その他機器の適正管理」について、不十分と評価した部局が、1割程度ありました。「業務の効率化、労働時間の短縮」については、不十分と評価した部局が3割程度ありましたが業務の都合上やむを得ないこともあります。総体的には、概ね実施されていました。

(2) 施設における省エネルギー化

「高効率な設備機器の優先導入」について、不十分と評価した部局が3割程度、「建築物の省エネルギー化の推進」について、不十分と評価した部局が5割程度ありました。「設備機器の効率的な運転管理」は、対象とする全部局で概ね実施されていました。

(3) 環境負荷の少ないエネルギー利用

実施できなかった部局もありましたが、「再生可能エネルギーの率先導入」について、6部局において検討されていました。

(4) 公用車における省エネルギー化

「エコドライブの徹底」、「効率的な運行管理」については、ほとんどの部局で概ね実施されました。「低燃費車の導入」については、不十分と評価した部局が5割程度ありました。

(5) その他

「事務用紙使用量の抑制」については、2割程度の部局が、「廃棄物の削減、リサイクルの推進」、「イベント等における環境配慮」については、1割程度の部局が不十分と評価しました。「ノーマイカーデーの実施」については、不十分と評価した部局が7割程度ありましたが、交通の利便性や子どもの送迎等、やむを得ないこともあります。「節水」、「グリーン調達」については、ほとんどの部局で概ね実施されていました。

(6) 環境法規制等の順守

ほとんどの部局で順守されていました。一部において、順守していない部局が見受けられましたが、すでに対応済み、もしくは対応中です。

(7) 公共工事の環境配慮

すべての部局で実施できていました。

4. 研修

適切なEMSの推進を目的とし、職員の環境マネジメントシステムに関する理解を深めるため、下記の研修会を実施しました。

・ 新人職員研修

(日時) 4月5日(金)

(対象) 新人職員(受講者 95名)

(内容等) 市役所における環境への取り組み

・ 課長、EMS 実行委員研修

(日時) 5月23日(木)、24日(金)(受講者 297名)

(対象) 各課長及びEMS 環境実行委員

(内容等) 環境問題の現状、概要、運用のポイント 等

・ 内部環境監査員養成研修

(日時) 1月28日(火)

(対象) 環境保全課職員(受講者 20名)

(内容等) 環境基礎講義、内部監査の手順、内部監査のポイント、ケーススタディ演習 等

5. 平成25年度内部環境監査実施結果

(1) 監査実施日

平成26年2月3日(月)～3月18日(火)

(2) 監査対象課かい

被監査部門 51課かい

基地政策局

行財政改革推進局

企業立地推進局

観光物産振興局

契約監理室

契約課

企画部

政策経営課、地域政策課、宇久行政センター住民課、

宇久行政センター産業建設課

総務部

総務課

農水商工部	産業振興課、農林整備課
都市整備部	都市政策課、公園緑地課、営繕課
土木部	土木政策・管理課、道路整備課、道路維持課、河川課
港湾部	みなと振興・管理課、みなと整備課
市民生活部	市民生活課、世知原支所
保健福祉部	保健福祉政策課、西部芳世苑、宇久保健福祉センター
子ども未来部	子ども政策課
環境部	環境政策課、西部クリーンセンター、宇久環境センター
国体推進室	
会計管理室	
消防局	総務課、宇久出張所
交通局	総務課
水道局	経営管理課、下水道事業課、水道事業課、宇久営業所、水道施設課、 下水道施設課
総合病院	総務課、宇久診療所
教育委員会	総務課、学校保健課、公民館政策課、宇久地区公民館
議会事務局	
選挙管理委員会	
監査事務局	
農業委員会事務局	

政策調整担当課（各部局）、公共工事対象課、その他、事務局において、現在の取り組み状況や業務における環境への影響等を勘案し、今年度監査をする必要があると判断した課かいを対象としました。

（３）監査チーム

内部環境監査員 19名により 22チームを編成（1チームあたり 2名）

（４）監査の内容

佐世保市環境マネジメントシステムとの適合状況や日々の取組状況等について確認しました。監査チームは、主に以下の項目について監査を実施しました。

監査項目	主な点検内容
a. 省エネ省資源行動	省エネ省資源行動等について、取組目標が適切に設定され、効果的に実施されているか
b. 環境投資	設備機器の省エネ化や環境負荷の少ないエネルギー利用等が検討・実施されているか
c. 環境法規制等	適用を受ける法規制等が順守されているか
d. 公共工事の環境配慮	点検マニュアルの対象工事について、点検が適切に実施されているか
e. 取組状況の評価	取組状況の確認や評価が適切に実施されているか
f. 是正対応	課題に対して適切な是正が実施されているか
g. 研修の実施	適切に職場研修が実施されているか 理解度は十分か

(5) 監査結果

優秀事項 3件

要改善事項 34件

「優秀」事項の内容

《監査事務局》

- ・常勤監査委員（特別職）に対して、研修を実施していました。
- ・コピー機やゴミ箱の近くに事務用紙使用量（残り使用可能枚数）やゴミ排出量についての掲示がなされており、職員の意識を高める効果がでていました。
- ・取組目標の掲示（川柳を使ったユニークなもの）があり、課として効果的な独自の取り組みを実施していました。

《下水道施設課》

- ・取組目標設定時に、各施設の管理を委託している業者からも取組目標案を提出させ、それらを踏まえて目標を設定していました。また、委託業者にも取組状況の確認・記録を毎日行わせており、職員だけではなく、委託業者も一体となって環境配慮に取り組んでいました。

《総合病院 総務課》

- ・取組状況の全体評価については課長が行っていますが、全職員が日替わりの当番制で「エコ隊長」として日常の取り組みのチェックを行っており、全職員に対して周知・徹底が図られていました（月2回ほど隊長が回ってきます）。持ち回りでの取組状況確認は他課でも行われていますが、ユニークな名前をつけ、「エコ隊長」の卓上表示を回すことで自覚を促すひと工夫がなされており、模範となる取り組みです。

「要改善」事項の内容

a. 省エネ省資源行動

目標設定している項目について、順守できていない事例がありました。裏紙利用や、OA機器の省エネモードの設定、吹き出し口に物を置かない等、ちょっとした職員の意識で改善できる内容が多く見受けられたため、各課において確実に設定目標の周知及び順守を行う必要があります。

b. 環境投資

要改善の指摘はありませんでした。

c. 環境法規制等

駐車場のアイドリングストップ周知の掲示、産業廃棄物の保管場所の明示がされていない事例が散見されました。

d. 公共工事の環境配慮

一部の課かいにおいて、レッドマップの添付漏れがありました。

e. 取組状況の評価

取組目標に対する評価と現状が一致していない事例があり、また、日々の取組状況の確認体制がとれていない課かいがありました。事務局で作成している「取組状況確認シート」を活用する等、各課において取組状況を確認する体制を整える必要があります。

f. 是正対応

実施できていないという状況を把握しているにも関わらず、改善措置がとられていない事例がありました。実施できていない項目については、できるだけ早く改善措置をとる必要があります。

g. 研修の実施

職員への研修が徹底されていない課かいはありました。研修は、臨時職員を含めた全職員を対象としており、本市のマネジメントシステムを理解し、運用する際に重要となるため、確実に実施する体制を整える必要があります。

改善措置等

監査においては、3課かいはおいて3件の「優秀事項」の判定があり、また、22課かいはおいて34件の「要改善」の判定がありました。「要改善」の指摘事項に対しては、監査対象課から適切な改善方針が出されているとともに、既に改善措置が講じられています。

(6) まとめ（監査結果を踏まえ）

平成25年度から、ISOの規格によらない本市独自の環境マネジメントシステムの運用を開始し、初めて実施した内部監査でした。

監査においては、各課の環境活動の実施状況やEMSの運用状況等を確認しました。一部課かいはおいて、「要改善」の判定がありましたが、監査での指摘を受け、EMSの適切な運用を行うよう改善できました。

内部監査において「要改善」の判定を受けた事項は、今回監査を受けていない課かいはおいても起こりうる可能性があり、事務局としては、同様の事項が発生しないよう、今回の監査内容について職員へ周知し、再発防止に努めています。また、優秀な取り組みを職員へ紹介し、より一層のEMSの推進に努めています。

6. 平成25年度実績における評価

平成25年度温室効果ガス排出量は、基準年度に比べて大幅に削減できておりますが、廃プラスチック焼却量の減少が主な要因であり、エネルギー等使用量で見ると、基準年度より使用量が増加した項目もあるため、各部門、今後も引き続き、取り組みを推進していく必要があります。

各部局における取組目標の達成状況については、「再生可能エネルギーの導入」、「低燃費車の導入」等の率直的な取組方針、「業務の効率化、労働時間の短縮」、「ノーマイカーデーの実施」に対する取組目標について、不十分だと評価した部局が散見されました。総体的には、各部局における取組目標は概ね実施されており、不十分だと評価した取組目標についても、実施内容の見直しが検討されています。

職員の日々の取り組みによる削減には限界があるため、さらに、推進するうえで必要となる施設改修や設備・機器の導入等に当たっては、各課において、積極的に情報収集や検討を行い、エネルギー使用量の削減や温室効果ガスの削減効果を考慮しながら、財政面での確保に努めることとします。また、研修や内部監査を実施することにより、システムの継続的な改善を図っていきます。

各部署における環境活動の取組目標の達成状況

部署名	区分	省エネ行動					施設における省エネルギー化			環境負荷の少ないエネルギー利用		公用車における省エネルギー化			その他						環境法規制等の順守	公共工事の環境配慮
		冷暖房機器の適正管理	照明機器の適正管理	OA機器の適正管理	その他機器の適正管理、利用	業務の効率化、労働時間の短縮	高効率な設備機器の優先導入	設備機器の効率的な運転管理	建築物の省エネルギー化の推進	再生可能エネルギーの優先導入	ごみ焼却施設等から発生する余熱の有効利用	エコドライブの徹底	効率的な運行管理	低燃費車の導入	事務用紙使用量の抑制	節水	廃棄物の削減、リサイクルの推進	グリーン調達	ノーマイカーデーの実施	イベント等における環境配慮		
基地政策局	達成度	100	100	100	100	80	—	—	—	—	—	—	80	—	80	100	80	80	80	—	—	—
	区分の平均	96					—			—		80			84						—	—
行財政改革推進局	達成度	100	100	90	100	100	—	—	—	—	—	—	—	—	80	100	100	100	100	—	—	—
	区分の平均	98					—			—		—			96						—	—
企業立地推進局	達成度	40	80	100	80	80	—	—	—	—	—	100	80	—	100	90	100	100	0	—	100	100
	区分の平均	76					—			—		90			78						100	100
観光物産振興局	達成度	90	90	100	70	90	80	90	—	—	—	100	90	90	90	75	70	90	50	65	100	100
	区分の平均	88					85			—		93			73						100	100
防災危機管理局	達成度	80	100	100	100	50	—	—	—	—	—	100	100	—	100	100	100	80	40	100	100	—
	区分の平均	86					—			—		100			87						100	—
契約監理室	達成度	85	90	20	90	80	—	—	—	—	—	100	100	—	80	100	100	100	0	100	100	—
	区分の平均	73					—			—		100			80						100	—
企画部	達成度	98	97	92	92	81	100	90	100	—	—	96	96	80	95	98	94	96	77	93	100	—
	区分の平均	92					97			—		91			92						100	—
総務部	達成度	95	94	88	96	92	—	—	—	—	—	95	100	80	88	100	98	98	45	—	100	—
	区分の平均	93					—			—		92			86						100	—
財務部	達成度	100	96	92	88	84	80	100	80	100	—	85	98	60	48	90	76	100	34	80	100	—
	区分の平均	92					87			100		81			71						100	—
農水商工部	達成度	96	94	96	87	89	68	100	50	80	—	96	94	53	87	96	89	94	57	98	83	—
	区分の平均	92					73			80		81			87						83	—
都市整備部	達成度	100	93	86	91	71	80	—	—	—	—	94	94	45	86	94	96	93	49	92	67	100
	区分の平均	88					80			—		78			85						67	100
土木部	達成度	100	93	93	100	70	—	—	—	—	—	98	98	80	95	93	60	88	65	88	100	100
	区分の平均	91					—			—		92			81						100	100
港湾部	達成度	85	95	85	100	80	80	100	40	—	—	90	100	80	85	100	90	100	90	80	50	100
	区分の平均	89					73			—		90			91						50	100
市民生活部	達成度	94	95	87	93	89	85	95	78	—	—	91	90	71	91	95	96	98	52	84	100	100
	区分の平均	91					86			—		84			86						100	100
保健福祉部	達成度	95	92	71	79	67	50	100	57	—	—	88	85	43	77	90	89	95	44	80	100	—
	区分の平均	81					69			—		72			79						100	—
子ども未来部	達成度	92	83	82	83	40	—	—	—	—	—	84	84	40	82	88	83	83	70	86	100	—
	区分の平均	76					—			—		69			82						100	—
環境部	達成度	96	95	87	93	81	83	92	83	100	90	91	95	80	88	90	91	91	74	95	100	100
	区分の平均	90					86			95		88			88						100	100
国体推進室	達成度	80	90	80	80	100	—	100	100	—	—	80	100	—	90	100	100	100	80	90	100	—
	区分の平均	86					100			—		90			93						100	—
会計管理室	達成度	100	90	100	100	80	—	—	—	—	—	—	100	—	50	100	100	100	100	—	—	—
	区分の平均	94					—			—		100			90						—	—
消防局	達成度	95	96	72	94	96	53	90	93	—	—	97	93	93	90	93	94	91	59	92	100	—
	区分の平均	91					79			—		94			86						100	—
交通局	達成度	90	100	95	95	0	75	100	40	—	—	85	100	0	75	95	90	90	40	—	100	—
	区分の平均	76					72			—		62			78						100	—
水道局	達成度	83	93	86	93	74	93	90	84	93	—	90	91	85	84	81	91	95	74	83	100	100
	区分の平均	86					89			93		89			85						100	100
総合病院	達成度	68	86	42	94	46	87	87	40	0	—	75	90	—	53	90	74	92	62	70	100	100
	区分の平均	67					71			0		83			73						100	100
教育委員会	達成度	86	92	88	91	78	68	91	73	20	—	95	93	60	89	94	92	94	58	87	92	—
	区分の平均	87					77			20		83			86						92	—
議会事務局	達成度	100	90	40	90	80	—	—	—	—	—	100	80	80	80	90	80	100	80	—	—	—
	区分の平均	80					—			—		87			86						—	—
選挙管理委員会事務局	達成度	50	100	100	40	50	—	—	—	—	—	—	—	—	100	100	80	80	40	—	—	—
	区分の平均	68					—			—		—			80						—	—
監査事務局	達成度	100	100	100	—	100	—	—	—	—	—	—	—	—	100	100	100	100	100	—	—	—
	区分の平均	100					—			—		—			100						—	—
農業委員会事務局	達成度	100	100	100	100	100	—	—	—	—	—	80	100	80	100	80	80	80	100	80	—	—
	区分の平均	100					—			—		87			87						—	—